

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 6 部門第 2 区分

【発行日】令和 1 年 6 月 27 日 (2019.6.27)

【公開番号】特開 2019-12190 (P2019-12190A)

【公開日】平成 31 年 1 月 24 日 (2019.1.24)

【年通号数】公開・登録公報 2019-003

【出願番号】特願 2017-128730 (P2017-128730)

【国際特許分類】

G 0 2 B 27/01 (2006.01)

G 0 3 B 35/18 (2006.01)

G 0 2 B 17/08 (2006.01)

B 6 0 K 35/00 (2006.01)

【F I】

G 0 2 B 27/01

G 0 3 B 35/18

G 0 2 B 17/08 A

B 6 0 K 35/00 A

【手続補正書】

【提出日】令和 1 年 5 月 21 日 (2019.5.21)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

照明光を変調して画像表示光を生成する表示部と、

前記画像表示光を虚像提示板に向けて反射させる凹面鏡と、前記表示部と前記凹面鏡の間に配置される凸レンズとを含む投射光学系と、を備え、

前記表示部は、前記虚像提示板および前記投射光学系により構成される合成光学系のメリディオナル面内焦点より前記凸レンズに近い位置に配置され、

前記凹面鏡の焦点距離は、前記凸レンズの焦点距離より長いことを特徴とする虚像表示装置。

【請求項 2】

前記凹面鏡の焦点距離は、前記凸レンズの焦点距離の 1.5 倍以上 3 倍以下であることを特徴とする請求項 1 に記載の虚像表示装置。

【請求項 3】

前記表示部は、前記合成光学系による虚像の拡大率を M 、前記合成光学系のメリディオナル面内焦点距離を f_M としたときに、前記合成光学系のメリディオナル面内焦点から $d = f_M / M$ の距離に配置されることを特徴とする請求項 1 または 2 に記載の虚像表示装置。

【請求項 4】

前記虚像提示板は、車両に設けられる厚さが均一なウィンドシールドであることを特徴とする請求項 1 から 3 のいずれか一項に記載の虚像表示装置。